

学校経営 ビジョン	「学力向上と生徒指導の充実を柱とした、人間性豊かな生徒の育成」	① 生徒指導を基盤とした学力向上の取組を通して、生徒の生きる力の育成を図る。 ② 学校や地域のよりよい伝統を受け継ぎながら、生徒全員が授業や諸活動に精力的に打ち込める環境づくりに努める。
--------------	---------------------------------	--

評価項目	評価指標	具体的数値目標	自己評価		結果の考察・分析及び改善策等	関係者評価	学校関係者の評価のコメント		
			指標別	総合					
「知」	学業指導の徹底と生徒の主体性を生かした授業の実践（課題解決型の学習展開）	Q-U 検査学習意欲点 15 以上の生徒が 70%以上	4…70%以上 2…30%～50%	3…50%～70% 1…30%未満	4	3.3	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年平均が 79%で、目標を達成できた。 ・ QUの結果を活用した学級づくりができてい る。11月の結果で1、3年生が若干下がっているが、1月実力テストでは好成績であった。 ○ 全学年平均が 78%で目標を達成できた。 ・ 1年生が 74%にとどまっており、今後1年間の総復習を授業中に実施するなど、指導方法の改善を図っていききたい。 ○ 全学年平均が 77%で目標を達成できた。 ・ デジタル教科書や電子黒板、インターネットを活用した授業が定着してきている。 ・ 教科によっては活用が不十分なものもあり、校内研修を充実させ全職員で活用していききたい。 ○ Web学習単元評価システムは、既習領域において100%活用している。 ○ 家庭学習時間の調査をする時期にもよるが目標を大きく下回った。今年度はノーメディアデーを実施するなど家庭との連携は進みつつある。 	
		学校独自の調査（授業評価）の理解度の項目で「4」「5」の生徒が 70%以上	4…70%以上 2…30%～50%	3…50%～70% 1…30%未満					4
	生徒一人一人の理解度を確認し分かる・できるまで教える授業の実践（諸テストの分析）	学校独自の調査（授業評価）のICTの活用項目で「4」「5」の生徒が 70%以上	4…70%以上 2…30%～50%	3…50%～70% 1…30%未満	4				
		Web学習単元評価システム活用100%							
家庭学習の習慣化と充実（家庭との連携）	家庭学習が、1年は100分、2・3年は2時間以上の生徒が70%以上	4…全学年70%を超える 3…2つの学年が70%を超える 2…1つの学年が70%を超える 1…全学年70%を超えない		1					
「徳」	望ましい学級集団づくり（Q-U検査）	2回目のQ-U検査においてすべての学級が、学級生活満足群に所属する生徒の全国平均値（35%）以上	4…5学級 2…1～2学級	3…3～4学級 1…0学級	4	4.0	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全学級とも全国平均値（35%）を大きく上回り、学校平均は71%であった。 ・ 検査結果を用いた職員研修やSSTの実践により2回目はさらに数値が向上した。 ○ 全学級とも全国平均値（15点）を上回り、学校平均は18.4であった。 ・ 人権教育の実践や道徳の時間、いじめ・不登校対策委員会の毎週実施を続けている。 ○ 全学年平均が 3.0でぎりぎりではあるが目標を達成できた。 ・ 昨年より評価が下がったのは、台風でクリーン作戦が中止となったことが影響している。 	
	生徒と向き合う時間の確保と思いやりの心の育成（いじめ撲滅）	2回目のQ-U検査においてすべての学級が、友人関係得点の全国平均値（15点）以上	4…5学級 2…1～2学級	3…3～4学級 1…0学級					4
	生徒会活動の充実と地域に貢献できる活動の推進（ふるさとを愛する心の育成）	生徒・保護者アンケート（4段階評価）で、3.0以上	4…全学年3.0を超える 3…2つの学年が3.0を超える 2…1つの学年が3.0を超える 1…全学年3.0を超えない						4
「体」	基礎体力や運動能力の向上	新体力テストにおいて、全学年6種目以上で県平均を上回る。	4…5以上 2…1～2	3…3～4 1…0	3	3.0	2.8	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生男子、3年生女子を除いて、県平均を6種目上回った。2年連続で学校平均点が上昇し、D、Eの生徒が減少しているため、奨励賞を受賞した。 ○ 虫歯治療率70%で目標を達成できていない。 ・ 虫歯治療推進集会を2回実施した。市の医療費補助が始まり現在治療中の生徒がいる。 	
	健康的な生活習慣の育成と立腰指導	むし歯治療率80%以上	4…80%以上 2…40%以上	3…60%以上 1…40%未満					3
「食」	年間を通して給食残食ゼロ、朝食をとらない生徒ゼロ	全ての学級が年間を通して残食0	4…5学級 2…1～2学級	3…3～4学級 1…0学級	4	3.0	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年で、残食0を達成し、現在も継続中である。 ・ 4月の徹底した給食指導や日頃からの食に対する指導の効果であると考える。 ○ 朝食を食べずに登校する生徒は現在もいる。時々取らない生徒は各学年に数人いる。 ・ 学級担任や養護教諭が継続的に個別に相談し改善を促している。 ○ 年間2回の弁当の日を実施した。 ・ 給食試食会や学校保健委員会を開催した。栄養教諭を講師に招き食育について学習した。2年では食育講演会を実施した。 	
		朝食抜きの年間のべ0人	4…0人 2…のべ30人	3…のべ15人 1…のべ30人以上					3
	「弁当の日」の充実	弁当の日を3回以上実施	4…4回以上 2…2回実施	3…3回実施 1…1回実施	2				

次年度の方向性についての校長所見	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭学習の習慣化と充実に関して、PTA総会や参観日などでの啓発、家庭教育学級での研修等を中心に、家庭との連携を強めるための具体的な手立てを検討したい。 ○ 望ましい学級集団作りに関して、満足度において全国平均を上回るだけでなく、さらに目標値を上げて手立てを工夫し、全生徒が意欲的に学校生活が過ごせるように継続した取組を行いたい。 ○ 体力向上に関して、全学年が目標を達成できるように、保健体育の授業や各運動部活動において達成率の低い種目を中心に補強を行う。また、虫歯治療率に関しては、100%を目標に取り組む。
------------------	---